

事務事業評価表

平成25年度【24年度事後評価】

会計名称	一般会計					
事務事業名	細々目01 公民館施設維持補修事業					
予算区分	款	10	教育費		所属	生涯学習課
	項	05	社会教育費			
	目	02	公民館費		連絡先	0594-23-4103
	細目	005	施設維持補修費			

事業の概要

(事業の概要を対象、手段、意図で説明します。)

対象 (誰、何に対してこの事務事業を行うのか)	⇔ 下欄の対象指標	付記事項
中央公民館、独立館、併設館、多度公民館、長島地区公民館		
手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	⇔ 下欄の活動指標	
○公民館利用者が快適に安心して中央公民館、独立館、併設館、多度公民館、長島地区公民館を利用し学習できるよう施設・設備の維持補修を行う。		
意図 (この事務事業によって対象をどのような状態にしたいのか)	⇔ 下欄の成果指標	
公民館利用者が快適に安心して公民館を利用して学習できるようにする。		

事業活動と成果

(上記の対象、手段、意図の内容を数値を用いて説明します。)

区分	指標名	単位	22年度	23年度	24年度	25年度当初	
対象指標	施設数 (城東を除く)	館	19	19	19	19	
活動指標	施設修繕箇所数 (40万円以上支出した修繕)	箇所	2	12	14	1	
成果指標	施設維持管理上の不具合件数	件	0	1	0	0	
			実績値	3	1	3	
投入コスト	事業費計			4,936	9,591	11,976	5,330
	財源内訳	国支出金	千円				
		県支出金					
		地方債					
		その他					
		一般財源		4,936	9,591	11,976	5,330
所要人員 (正職員・嘱託)		人工	1.54	2.37	2.65		

進捗評価

(事務事業の成果とその向上余地について説明します。)

成果は計画どおりにあがっているか。

- 計画どおり
- 概ね計画どおり
- 停滞

成果向上の可能性はあるか。

- ある
- あまりない
- ない

厳しい財政状況もあり施設の維持管理については、費用対効果よりも緊急性や危険度などを基準とした優先順位を決め効率的な維持補修に努めなければならない。